

令和6・7年度 埼玉医科大学病院 医師労働時間短縮計画 更新版
(承認 令和7年6月12日 ボード会議)

計画期間

令和6年4月～令和8年3月末

対象医師

※令和7年2月1日時点

- ・小児科医師 34名（連携B水準：3名）※計画策定時の4名中1名退職済
- ・産婦人科医師 18名（連携B水準：4名）
- ・救急科医師 6名（連携B水準：2名）
- ・消化器・一般外科医師 8名（連携B水準：2名）

1. 労働時間と組織管理（共通記載事項）

小児科医師 34名（連携B水準：3名）

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	計画期間終了 年度（当年度）目標
平均	272時間	245時間
最長	750時間	675時間
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0人・0%	0人・0%
1,860 時間超の人数・割合	0人・0%	0人・0%

産婦人科医師 18名（連携B水準：4名）

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	計画期間終了 年度（当年度）目標
平均	355時間	320時間
最長	656時間	590時間
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0人・0%	0人・0%
1,860 時間超の人数・割合	0人・0%	0人・0%

救急科医師 6名（連携B水準：2名）

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	計画期間終了 年度（当年度）目標
平均	500時間	450時間

最長	605時間	545時間
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0人・0%	0人・0%
1,860 時間超の人数・割合	0人・0%	0人・0%

消化器外科・一般外科医師 8名（連携B水準：2名）

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	計画期間終了年度 （当年度）目標
平均	472時間	425時間
最長	929時間	836時間
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0人・0%	0人・0%
1,860 時間超の人数・割合	0人・0%	0人・0%

(2) 労務管理・健康管理
【労働時間管理方法】

前年度の取組実績	・ 勤怠管理システムの導入による全医師（研修医含）のICカード打刻と実績申告運用の開始
計画期間終了年度（当年度）の取組目標	・ 打刻や実績入力割合の増加 ・ 労働時間と自己研鑽、宿日直許可有無、院内と兼業先等の分類を理解した正しい労働時間の計上

【宿日直許可の有無を踏まえた時間管理】

前年度の取組実績	・ ER内科当番以外の全ての当番の宿日直許可を取得
計画期間終了年度（当年度）の取組目標	・ 定期的な宿日直の現状調査 ・ 必要に応じた許可時間の見直し

【医師の研鑽の労働時間該当性を明確化するための手続等】

前年度の取組実績	・ 「労働時間取扱マニュアル」の策定 ・ 講習会での定期的な周知 ・ 職員専用ポータルサイトへの掲載
計画期間終了年度（当年度）の取組目標	・ 自己研鑽時間取得状況の定期的な調査

【労使の話し合い、36 協定の締結】

前年度の取組実績	・ 変更書式による36協定締結と届出(2024年7月) ・ 職員専用ポータルサイトへの掲載
計画期間終了年度（当年度）の取組目標	・ 適切な上限時間の見直しと36協定の更新

【衛生委員会、産業医等の活用、面接指導の実施体制】

前年度の取組実績	・ 労働安全衛生委員会の月1回の開催 ・ 定期健康診断や特定業務従事者健康診断等の定期的な実施 ・ 必要に応じた産業医や面接実施医師との連携
計画期間終了年度（当年度）の取組目標	・ 上記事項の継続

【追加的健康確保措置の実施】

前年度の取組実績	・ 面接指導時に追加的健康確保措置の必要性の有無を確認 ・ 就業上の措置が必要時は診療部長と連携 ・ 前月分の勤務間インターバルと代償休息の取得状況についての確認と不足時の取得指導実施（連携日水準医師）
計画期間終了年度（当年度）の取組目標	・ 上記事項の継続

(3) 意識改革・啓発

【管理者マネジメント研修】

前年度の取組実績	・ 病院執行部（病院長/副院長/院長補佐）の年1回のトップマネジメント研修への参加 ・ 診療部長の年1回以上の医師の働き方改革講習会への参加
計画期間終了年度（当年度）の取組目標	・ 上記事項の継続

(4) 策定プロセス

教員（医師）働き方支援センターにて、関係部署と連携しつつ、計画の作成や実績評価、定期的な見直しを行う。また各部門（診療部、看護部、中央部門、事務部門）の代表者で構成される大学病院の決議機関であるボード会議にて上記の承認を行う。

2. 労働時間短縮に向けた取組（項目ごとに任意の取組を記載）

（1）タスク・シフト／シェア

【看護師】

計画策定時点での取組実績	・ 初診患者への問診、入院説明、静脈留置針挿入、導尿、検査説明、退院支援調整等の実施
前年度の実績	・ 特定行為研修施設の認定（4パッケージ：術中麻酔管理領域、在宅・慢性期領域、外科系基本領域・集中治療領域） ・ 研修修了看護師の輩出
計画期間終了年度（当年度）の取組目標	・ 大幅な医師の当直負担軽減寄与としての特定行為研修修了施設認定追加（動脈採血・中脈静脈カテーテル） ・ 更なる特定行為研修修了看護師の増員 ・ 院内認定看護師による末梢静脈注射留置針挿入、男性尿道留置カテーテル挿入回数の増加

【薬剤師】

計画策定時点での取組実績	・ 術前外来の実施
前年度の実績	・ 服薬確認・指導のための術前外来の継続 ・ レジメンチェック・副作用モニタリング等のための外来化学療法薬剤師の増加 ・ 特定薬剤治療管理料の代行入力
計画期間終了年度（当年度）の取組目標	・ 術前外来件数増加 ・ 外来化学療法薬剤師の増加

【中央放射線部】

計画策定時点での取組実績	・ 検査時の問診・説明、同意書・血清クレアチニン値の確認、VR画像の活用等の実施
前年度の実績	・ 上記の実施
計画期間終了年度（当年度）の取組目標	・ 上記の継続実施 ・ 若手技師の教育

【中央検査部】

計画策定時点での取組実績	・ 術前SARS-Cov-2-PCR検査の検体採取、病棟検査への支援体制、手術中の脳波測定等の実施
前年度の実績	・ 治験・臨床研究のための検体採取・支援 ・ 救急外来における検査補助
計画期間終了年度（当年度）の取組目標	・ 上記の継続実施 ・ 若手技師の教育実施 ・ 医師への超音波検査教育の継続

【臨床工学部】

計画策定時点での取組実績	・ 透析システムへの指示代行入力、人工呼吸器患者への巡回
--------------	------------------------------

前年度の取組実績	・ 上記の実施 ・ 機器貸し出し手続きのオンライン化
計画期間終了年度（当年度）の取組目標	・ 若手技師の教育実施

【栄養部】

計画策定時点での取組実績	・ 食事オーダー代行入力
前年度の取組実績	・ 一部の病棟への管理栄養士の配置と適切な栄養管理や提案の実施
計画期間終了年度（当年度）の取組目標	・ 病棟担当管理栄養士の配置拡充 ・ 代行入力充実としての患者食事オーダー（一般食・特別治療食）の適切な入力

【医師事務作業補助者】

計画策定時点での取組実績	・ 医師事務作業補助者配置（24名）による医師の具体的指示の下での診断書作成、NCD登録等の実施
前年度の取組実績	・ 上記の実施
計画期間終了年度（当年度）の取組目標	・ 医師事務作業補助者の増員と各科への配置

（２）医師の業務の見直し

計画策定時点での取組実績	宿日直 ・ 特になし（主に診療科ごとの宿日直体制）
前年度の取組実績	・ 宿日直体制の見直しとして診療科統合実施 ・ オンコール体制の拡大
計画期間終了年度（当年度）の取組目標	・ 継続的なオンコール体制と宿日直体制有効性検討と改善実施

計画策定時点での取組実績	職員満足度調査 ・ 実施して医師の結果値を診療領域毎に分析
前年度の取組実績	・ 上記の実施
計画期間終了年度（当年度）の取組目標	・ 診療領域の特性分析 ・ 医師の働き方改革の参考材料としての活用

（３）その他の勤務環境改善

計画策定時点での取組実績	・ ITを活用した負担軽減（電子カルテの音声入力）当直翌日の業務内容・帰宅させる等の配慮、時短勤務制の導入
前年度の取組実績	・ 音声自動文字起こしツールの活用 ・ 医師の子育て支援勤務制度の活用
計画期間終了年度（当年度）の取組目標	・ 上記取組みの拡充

	・ 更なる勤務環境改善
--	-------------

(4) 副業・兼業を行う医師の労働時間の管理

計画策定時点での取組実績	・ 兼業先に宿日直許可の予定アンケート実施
前年度の実績	・ 兼業時間も含めた勤怠システム内の労働時間申告の実施 ・ 自院での労働時間が多い医師について、兼業先での宿日直許可取得状況の確認実施
計画期間終了年度（当年度）の取組目標	・ 上記の継続実施 ・ 特例水準医師における兼業先での勤務状況の継続確認

(5) C-1 水準を適用する臨床研修医及び専攻医の研修の効率化

計画策定時点での取組実績	C-1水準適用無し
前年度の実績	C-1水準適用無し
計画期間終了年度（当年度）の取組目標	C-1水準適用無し